

豪ドル年1回決算型ファンド

追加型投信／海外／債券

作成対象期間：2019年5月16日～2020年5月15日

第 3 期 決算日：2020年5月15日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
当ファンドは、豪ドル建ての公社債を主要投資対象とし、信用度の高い公社債に分散投資することにより、安定した収益の獲得をめざして運用を行います。ここに運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしく願い申し上げます。

第3期末 (2020年5月15日)

基準価額	8,319円
純資産総額	9,269百万円
騰落率	-7.0%
分配金合計 ^(*)	0円

(*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。


閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufg.jp/>

[ファンド検索] に
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで
閲覧およびダウンロード

 **MUFG** 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用
フリーダイヤル  **0120-151034**

(受付時間：営業日の9：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

運用経過

第3期：2019年5月16日～2020年5月15日

▶ 当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第3期首	8,941円
第3期末	8,319円
既払分配金	0円
騰落率	-7.0%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ7.0%の下落となりました。

ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（-6.4%）を0.6%下回りました。

基準価額の主な変動要因**上昇要因**

豪州債券市況が上昇したこと等は基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

豪ドルが対円で下落したことや信託報酬等は基準価額の下落要因となりました。

※ベンチマーク（ファンドの運用を行うにあたって運用成果の目標基準とする指標）は、ブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックス（0-3年、円換算ベース）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

※ベンチマークは、期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

2019年5月16日～2020年5月15日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	104	1.203	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(52)	(0.602)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(47)	(0.547)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(5)	(0.055)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.004	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(先物・オプション)	(0)	(0.004)	
(c) その他費用	3	0.032	(c) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.028)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	107	1.239	

期中の平均基準価額は、8,668円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

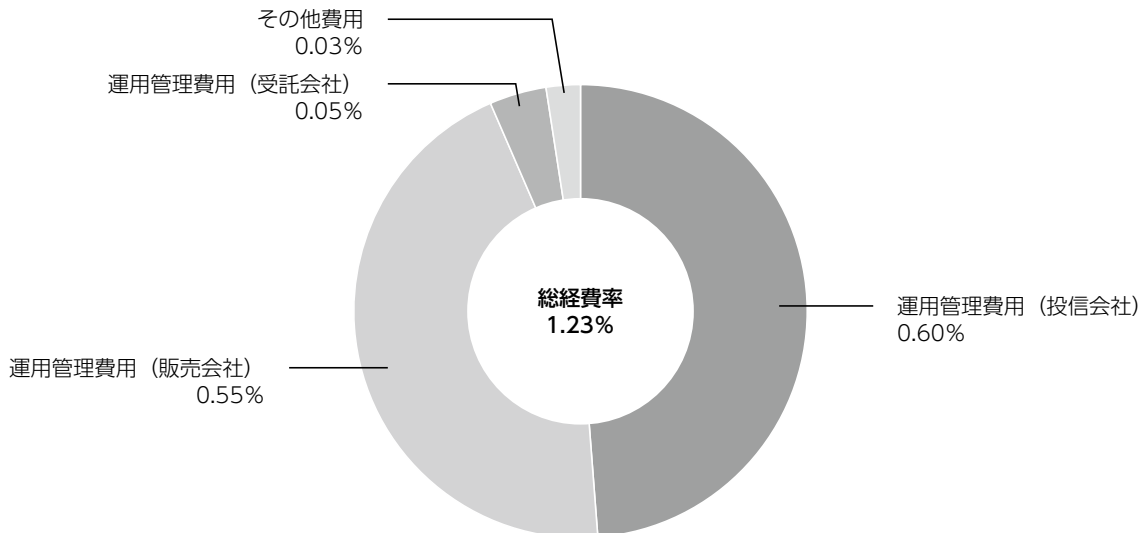
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.23%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

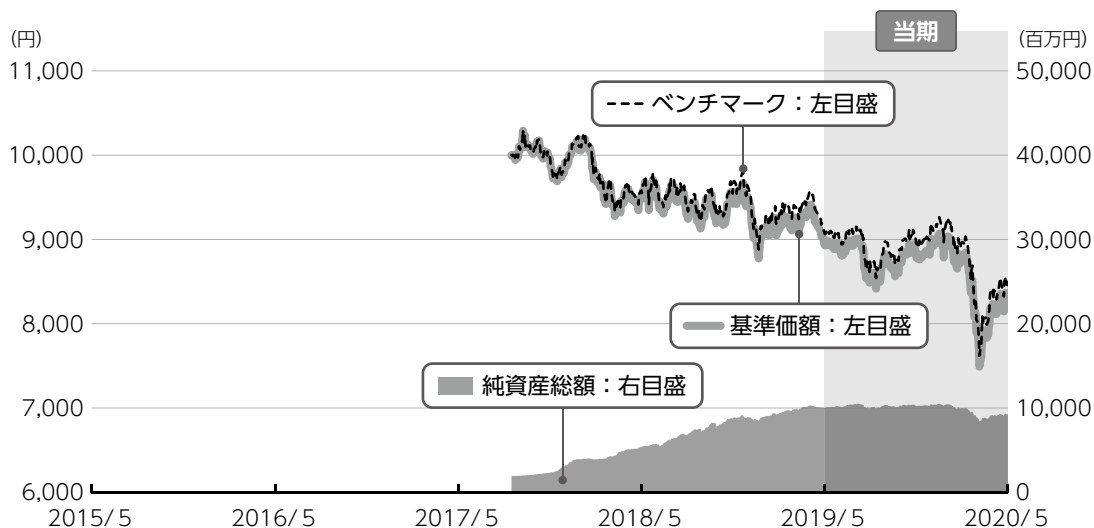
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2015年5月15日～2020年5月15日

最近5年間の基準価額等の推移について



※ベンチマークは、設定時の値を基準価額と同一となるように指数化しています。
 ※海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

最近5年間の年間騰落率

				2018/5/15 期初	2019/5/15 決算日	2020/5/15 決算日
基準価額	(円)	-	-	-	9,509	8,319
期間分配金合計 (税込み)	(円)	-	-	-	0	0
基準価額騰落率	(%)	-	-	-	-6.0	-7.0
ベンチマーク騰落率	(%)	-	-	-	-5.2	-6.4
純資産総額	(百万円)	-	-	-	5,375	9,269

※騰落率および期間分配金合計については、年間の値を表示しており、期間が1年に達していない場合には表示していません。

ベンチマークは、ブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックス（0－3年、円換算ベース）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

投資環境について

▶ 債券市況

豪州債券市況は上昇しました。

期首から2019年9月にかけては、世界の主要中央銀行が緩和的な金融姿勢を強めたことや、米中貿易摩擦に対する懸念等を背景に、豪州債券市況は上昇しました。

10月から12月にかけては、米中通商交渉の進展期待や英国の欧州連合（EU）離脱に関する懸念の後退等から、リスク回避姿勢が後退したことを背景に、豪州債券市況は緩やかに下落しました。

2020年1月から期末にかけては、豪州国内における大規模森林火災や新型コロナウイルスの感染拡大に対する警戒感や原油価格の下落等から、豪州債券市況は上昇しました。3月の半ばには、リスク回避姿勢の強まり等を背景に豪州債券市況は不安定化しました。

当期を通じて見ると、豪州債券市況は上昇しました。

当期間中に、豪州準備銀行（RBA）は合計5回の利下げを実施し、政策金利を過去最低となる0.25%まで引き下げました。また3月には、初の量的緩和導入を決定しました。

▶ 為替市況

豪ドルは対円で下落しました。

期首から2019年8月中旬にかけては、米中通商協議に関する懸念が強まったこと等を背景に、豪ドルは対円で下落しました。

9月から12月にかけては、米中通商協議や英国のEU離脱交渉等が進展したことを背景に、豪ドルは対円で上昇しました。2020年1月から期末にかけては、豪州国内における大規模森林火災や新型コロナウイルスの感染拡大に対する警戒感や原油価格の下落等から、豪ドルは対円で下落しました。3月後半から期末にかけては、世界各地の中央銀行が市場安定と景気下支えに動いたこと等から、豪ドルは対円で上昇しました。

当期を通じて見ると、豪ドルは対円で下落しました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

組入比率

当期を通じて現物債券を高位に組み入れました。また、機動的なデュレーション調整等の為に債券先物も一部組み入れました。

デュレーション（平均回収期間や金利感応度）

期首はベンチマークに対し中立から長めの水準の間で調整を行いました。2019年10月後半にベンチマーク対比で長めの水準に転換、11月後半には長期化幅を拡大しました。2020年3月の前半、一時的に対ベンチマーク比で中立の水準としましたが、3月後半には再びやや長めの水準に転換し、期末まで同水準を維持しました。

イールドカーブ

バリュエーションの観点から0～1年、および3～4年、5～6年ゾーンの債券を愛好して運用しました。

債券種別（セクター配分等）

債券種別配分については、当期を通じて、ベンチマークに対し、国債をアンダーウェイトとする一方、相対的な利回りの高さを楽しむため、社債（事業債など）をオーバーウェイトとしました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当期の基準価額騰落率は、7.0%の下落となり、ベンチマークであるブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックス（0－3年、円換算ベース）の6.4%の下落を0.6%下回りました。信託報酬等がマイナスに影響したことです。

プラス要因

イールドカーブ

当期においては、ベンチマーク比でプラスとなりました。

デュレーション

当期においては、ベンチマーク比でプラスとなりました。

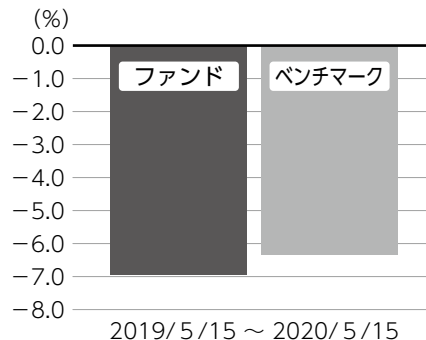
債券種別（セクター配分等）

当期においては、ベンチマーク比でプラスとなりました。

マイナス要因

信託報酬等

基準価額とベンチマークの対比（騰落率）



分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第3期
	2019年5月16日～2020年5月15日
当期分配金（対基準価額比率）	-（-%）
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	532

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

金利

現在、デュレーションをベンチマークに対し長めの水準としています。今後も金利水準や市場心理などを考慮しながら、必要に応じて機動的なデュレーション調整を行います。

債券種別（セクター配分等）

社債など非国債セクターの組み入れを高めにして運用します。新規発行銘柄については、割安と判断される場合には積極的に組み入れを検討します。

お知らせ

▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

▶ その他

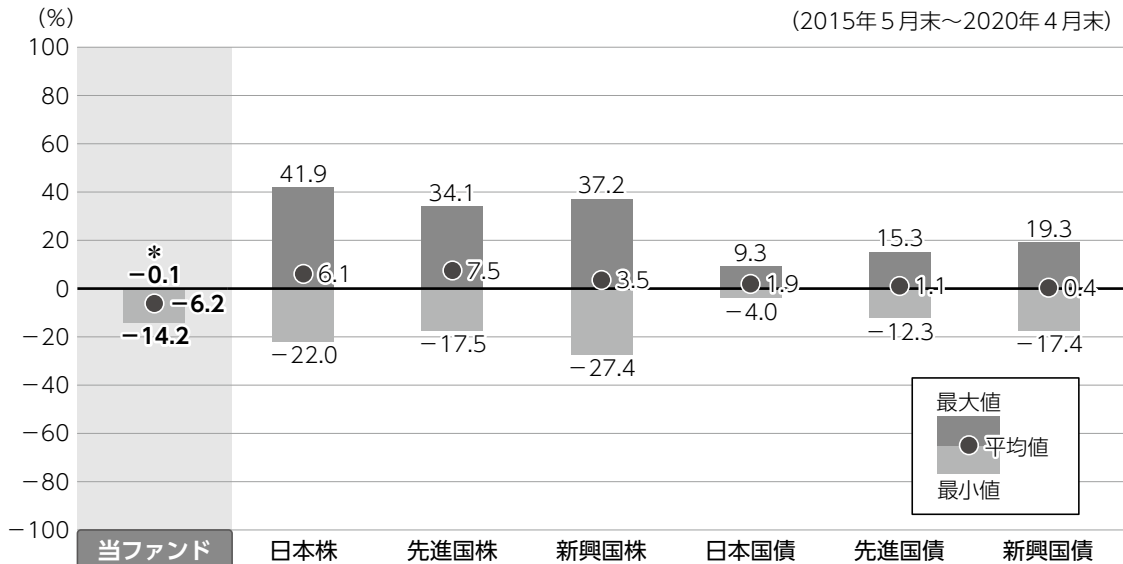
- ・該当事項はありません。

*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ (<https://www.am.mufig.jp/>) にて開示を行っている場合があります。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2027年5月14日まで（2017年8月30日設定）
運用方針	<p>豪ドル建ての国債、政府機関債、州政府債、社債、資産担保証券（ABS）、モーゲージ証券（MBS）、国際機関債等に分散投資を行います。</p> <p>ブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックス（0-3年、円換算ベース）をベンチマークとします。</p> <p>ポートフォリオの平均格付は原則としてAA-格相当以上を維持することとし、投資する公社債は原則として取得時においてA-格相当以上の格付を取得しているものに限りません。</p> <p>ポートフォリオの平均デュレーションは原則としてベンチマーク±1年以内の範囲で調整します。なお、デュレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。</p> <p>公社債の実質投資比率は、100%を超えることがあります。</p> <p>組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>運用指図に関する権限は、UBSアセット・マネジメント（オーストラリア）リミテッドに委託します。</p>
主要投資対象	豪ドル建ての公社債を主要投資対象とします。
運用方法	豪ドル建ての公社債を主要投資対象とし、信用度の高い公社債に分散投資することにより、安定した収益の獲得をめざします。
分配方針	<p>経費等控除後の利息等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p> <p>分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）</p>

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2015年5月から2020年4月の5年間ににおける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

*ファンドについては2018年8月～2020年4月の同様の騰落率を表示したものです。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorgan Global Diversified

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

2020年5月15日現在

当該投資信託の組入資産の内容

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：49銘柄)

	銘柄	種類	国	業種/種別	比率(%)
1	2.4 KFW 200702	債券	ドイツ	特殊債	7.1
2	2.75 AUST GOVT 240421	債券	オーストラリア	国債	5.7
3	3 QUEENSLAND 240322	債券	オーストラリア	特殊債	5.3
4	2.75 COMMONWEALT 211117	債券	オーストラリア	社債	3.9
5	1.75 VICTORIA 210727	債券	オーストラリア	特殊債	3.8
6	4.75 AIRSERVICES 201119	債券	オーストラリア	特殊債	3.4
7	4 NATIONAL AUSTR 211216	債券	オーストラリア	社債	3.2
8	6.75 MACQUARIE UN 200909	債券	オーストラリア	社債	3.1
9	3.1 WESTPAC BAN 210603	債券	オーストラリア	社債	2.8
10	4.5 KOMMUNALBANKE 230417	債券	ノルウェー	特殊債	2.7

※比率は純資産総額に対する割合です。

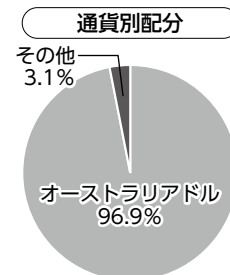
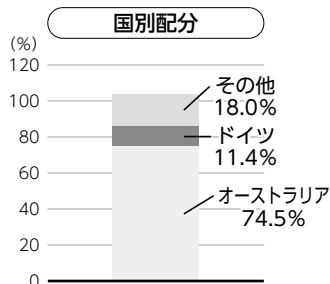
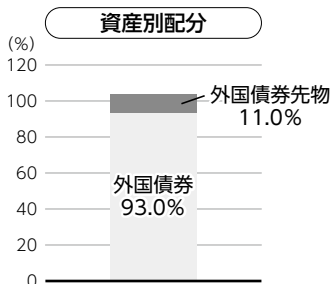
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

純資産等

項目	第3期末 2020年5月15日
純資産総額 (円)	9,269,446,004
受益権口数 (口)	11,143,009,037
1万口当たり基準価額 (円)	8,319

※当期中において追加設定元本は1,147,111,673円
同解約元本は 1,176,728,612円です。

種別構成等



※比率は純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含みます。

指数に関して

▶ ファンドのベンチマークである『ブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックス（0－3年、円換算ベース）』について

ブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックス（0－3年）とは、オーストラリアの債券市場の値動き（豪ドルベース）を表す指数で、残存期間が3年以内の銘柄で構成されています。

ブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックス（0－3年、円換算ベース）は、ブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックス（0－3年）をもとに、委託会社が計算したものです。

▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

●東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

●MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

●JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当該指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJ国際投信